

教科	国語	科目	言語文化	開講学期	後期	単位数	2	試験	後期
タイプ	I	レポート数	6	スクーリング必要時数		2	スクーリング実施時数		7

教科書(発行者)	新編言語文化(東京書籍)
補助教材(発行者)	新編言語文化 学習書(NHK出版)

科目の目標	古典から近現代までの文学作品や文化、言語の歴史などを学ぶことにより、日本の言語文化への理解を深める。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、作品との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点 及び その趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深められている。	各領域において、論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値に対する認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうと努めている。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
後期	第1回	読書感想文	第1回	後期
	第2回	小説『羅生門』	第2回	
	第3回	古文 古文に親しむ『宇治拾遺物語』『児のそら寝』	第3回	
	第4回	古文 随筆『徒然草』『奥山に、ねこまたといふものありて』 物語『伊勢物語』『芥川』	第4回	
	第5回	漢文 訓読の基本	第5回	
	第6回	漢文 漢詩「春暁」 史話『三国志』『曹公以関羽為義』	第6・7回	